

【学校教育目標】 自分とみんなのために 心を尽くし、学びを深め、ともに動く 大小っ子の育成
【目指す児童像】 気づく子 学ぶ子 元気な子

大村市立大村小学校

学校だより

第3号

令和7年4月30日発行

文責：校長 堺 邦寿

玖城のほとり



★ 進級・入学から1か月が過ぎました ★

明日から5月に入ります。お子様の進級・入学から1か月が過ぎようとしています。この1か月間には、新たな友だちや先生との出会い、昨年とは違う学年としての仕事などもあり、環境が大きく変わりました。今月は、始業式、入学式、1年生との顔合わせ会（1、6年）、交通安全教室（1、2、6年）、全国学力・学習状況調査（6年）、歓迎遠足、歓迎集会、委員会活動（5、6年）、代表委員会（4年生以上代表）、各種検診など、多くの行事がありましたが、子どもたちは本当によく頑張っています。それぞれが自分の役割を自覚し、1、2年生のために、学校のために、努力しています。大小っ子は、自分のためだけでなく、みんなのためにも努力する素晴らしい子どもたちばかりです。どうぞ、ご家庭でも学校のことを話題にさせていただき、お子様の頑張りをほめていただけるとありがたいです。よろしくお願いします。

ゴールデンウィーク明けからは、5月25日（日）の運動会に向けて、本格的に練習が始まります。少し疲れが出てくるかもしれませんが、お子様の様子で気になることがあれば、遠慮なく担任までお知らせください。家庭と学校が協力しながら、よりよい教育につなげてまいりますので、よろしくお願いします。



★ 授業参観・PTA総会へのご参加 ありがとうございます ★ (学校経営方針について)

4月23日（水）の授業参観・PTA総会へのご参加、誠にありがとうございました。多くの保護者の皆様に授業参観にお越しいただき、子どもたちも、とても喜んでいただけました。多くの保護者の皆様にお越しいただけたことは、私ども大村小学校教育にかかわる者への大きな期待であると認識しております。引き続き、611名の子どもたちのため、力を尽くしてまいります。よろしくお願いします。PTA総会では、学校教育目標についてお話をいたしました。ここで紹介します。

今年度は、学校教育目標を『自分とみんなのために、心を尽くし、学びを深め、共に動く児童の育成』、めざす児童像を「気づく子、学ぶ子、元気な子」としました。合言葉は、「自分とみんなのために」です。

「自分を大切にすること」を基本として、友だち、家族、地域社会など、「みんなのために」も心と力を尽くし、周囲の方々との関わりの中で、自分が誰かのために役に立っているという自己有用感を高めたいと考えています。「自分を大切にすること」とは、子どもにとって、どうすればよいのか、難しいところがあります。「自分を大切にすること」とは、「自分に自信をもつ」、子どもたちに「自信をもたせる」ことが基本となると思います。よく言われる「自己肯定感」とか、「自尊感情」をいかに育てるかということです。

この「自己肯定感」や「自尊感情」は、「自分だけ」というせまい考えでは、独りよがりのものになってしまう。やはり、周りとのかかわりの中で、自分が必要とされている、誰かのために役に立っているという「自己有用感」を実感することで、子どもたちの自信は、本物の自信となります。

これからの社会を生き抜く子どもたちには、自分のことだけでなく、周りにも目を向け、周りの人と一緒に動くことで、よりよい社会をつくっていく力が大切になってきます。

本校では、子どもたちが生きるこれから先の時代に目を向けた教育を進め、子どもたち、保護者の方々、地域の皆様にとっても、自慢の大村小学校をつくりたいと考えています。

この実現には、保護者の皆様のお力添えなくしては、なしえません。611名の子どもたちを真ん中に据え、学校と保護者の皆様と一緒に、子どもたちを支えていければと思います。今後、何かとお願いすることもあるかと存じますが、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いします。



※裏面に、木村指導教諭作成の「特別支援教育だより」No.2を載せております。どうぞお読みください。